



メリットの多い「助成金」——企業の認知度が低い理由

福井 泰代 2016.12.9

新連載

助成金

補助金



本連載は、福井泰代氏が代表取締役を務める「株式会社ナビット」による発行小冊子、『経営者のための助成金のすすめ』から、助成金と補助金が、企業にとってどのようなメリットがあるのかを紹介します。

助成金は企業の成長を後押しする「秘密兵器」

みなさん、こんにちは。「株式会社ナビット」代表取締役の福井泰代です。私たちは「助成金なう」という、全国の官庁、自治体だけでなく、財団などの11187機関の助成金・補助金をを一括して探せるサービスを提供しております。

私たちはサイトを運営するだけでなく、私たち自身も助成金や補助金を申請し、自分たちの研究開発に大いに役立てている「助成金獲得の当事者」でもあります。この小冊子は、助成金や補助金を、御社のビジネスの秘密兵器として、今後役立てていただきたいと思い、作成いたしました。

すでに助成金・補助金を御社のビジネスに役立てている方は、更にレベルアップするための方法として参考にして下さい。

間違いなく、助成金・補助金は、御社のビジネスの「武器」になります。助成金は御社の成長を飛躍的に後押しする、秘密兵器なのです。今まで助成金なんて関係ないと思っていた当社が、たくさんの助成金・補助金の獲得に成功した事例を、まずご紹介します。面倒くさいと思わずに、是非、この機会にチャレンジして下さい。

日本では「9308件」もの助成金の公募があるが・・・

さて、ここで問題です。助成金や補助金というと、最近有名なのは「ものづくり補助金」や「創業支援助成金」「キャリア形成助成金」などがありますが、実際に今、日本中でいったい幾つくらいの助成金や補助金が公募されているか、ご存知ですか？

答えは、2015年4月1日現在、官庁と地方自治体から6127件、財団系の助成金から3181件、合計で9308件の公募がされています。

それに対し、実際に助成金・補助金を申請し、獲得している中小企業の比率は何%がご存知ですか？ 答えは、0.01%と言われています。

この数値だけを見てもわかるように、いかに助成金や補助金がたくさん出ているにも関わらず、有効に使われていないかをご理解いただけたと思います。なぜ、助成金や補助金への申請獲得している企業が0.01%なのでしょう？

私たちは大きく分けて3点あると考えています。まず一つ目が、助成金や補助金は時代の流れに流されてコロコロ変わる「ミズモノ」的な要素が強いため、なかなか専任の指導するコンサルタントが育ちにくいこと。

例えば数年前、自民党から民主党に政権が変わったのをきっかけに、それまであった助成金は全てなくなりました。

それまで企業の助成金や補助金を指導していたコンサルタントは、この時、廃業を余儀なくされました。そして今また自民党が政権を奪回し、たくさんの助成金が巷にあふれてきています。このように助成金は非常に不確定な要素でコロコロ変わります。

二つ目は、とにかく情報が一元化されていないため、とてもわかりづらく、一般の人に情報が届きにくい仕組みになっています。

三つ目は、とにかく提出書類が多く、出した後も面倒で、資料がわかりづらい、というのがあります。

同じ助成金でも、前年と同じ、ということはなく、ちょっとずつ金額や仕様要件が変わっているので、助成金や補助金申請のプロに頼まないと、結構手間がかかり、面倒くさい、という印象があるようです。

KEYWORD

新連載

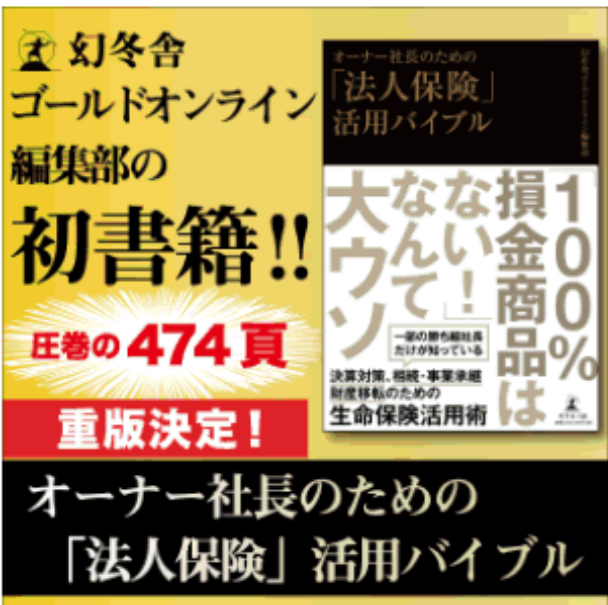
助成金

補助金

福井 泰代

株式会社ナビット 代表取締役

神奈川県箱根町生まれ。成城大学経済学部を卒業後、キャノン販売入社。営業成績は常にトップクラス。26歳で出産と結婚のため退職。
30歳の時に発明学会に入り発明を始める。31歳で満を持して創業。有限会社「アイデアママ」の社長になる。当時4つの発明をし、もっとも売れたのが「のりかえ便利マップ」である。現在は地下鉄などに採用されているが、発明当初は相手にされず苦汁を味わう。発明から3年目にしてやっと東京メトロに採用。現在は日本全国73%の駅に採用されている。企業コンセプトは「あったらいいなをカタチにする」こと。2児の母でもある。



GOLD ONLINE

メルマガ会員登録のご案内

メルマガ会員限定記事をお読みいただける他、最新情報やランキング、資産防衛セミナー・海外イベントの情報などをご案内。知的武装をし、行動するための情報を厳選してお届けします。

登録